



平成 30 年 6 月 14 日

各 位

会社名 株式会社 オ ハ ラ
 代表者名 代表取締役社長執行役員 齋藤 弘和
 (コード番号 5218 東証第 1 部)
 問合せ先 取締役常務執行役員 中島 隆
 (T E L 042 (772) 2101 (代表))

第 2 四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正
並びに配当予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 12 月 14 日に公表いたしました平成 30 年 10 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 29 年 11 月 1 日～平成 30 年 4 月 30 日）の業績予想と、本日公表の同実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 12 月 14 日に公表いたしました平成 30 年 10 月期通期（平成 29 年 11 月 1 日～平成 30 年 10 月 31 日）の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 10 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想数値と実績値との差異
 (平成 29 年 11 月 1 日～平成 30 年 4 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期 純利益
前回発表予想 (A)	百万円 12,200	百万円 800	百万円 950	百万円 750	円 銭 30.83
実績値 (B)	13,077	1,331	1,475	1,438	59.15
増減額 (B - A)	877	531	525	688	—
増減率 (%)	7.2	66.5	55.3	91.8	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 10 月期第 2 四半期)	11,483	379	655	498	20.50

2. 平成 30 年 10 月期通期連結業績予想数値の修正
 (平成 29 年 11 月 1 日～平成 30 年 10 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 25,400	百万円 1,800	百万円 2,000	百万円 1,600	円 銭 65.77
今回修正予想 (B)	26,200	2,700	2,900	2,400	98.66
増減額 (B - A)	800	900	900	800	—
増減率 (%)	3.1	50.0	45.0	50.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 10 月期)	24,628	1,715	2,242	1,513	62.23

3. 第2四半期累計期間連結業績予想数値と実績値との差異及び通期連結業績予想数値の修正の理由

(1) 第2四半期累計期間連結業績予想数値と実績値との差異の理由

売上高につきましては、光事業において、新製品やレンズ加工品の販売に努めたことや、エレクトロニクス事業において、半導体露光装置向け高均質ガラスの販売が増加したほか、耐衝撃・高硬度クリアガラスセラミックス「ナノセラム™」の販売が想定以上に進展したことなどから、前回予想を上回りました。

営業損益では、光事業、エレクトロニクス事業ともに原料価格の上昇や業務委託費用の増加が見られたものの、生産性の改善に努めた結果、売上高原価率が想定以上に改善しました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、業績回復に伴い、繰延税金資産を見直したことなどから、前回予想を上回りました。

(2) 通期連結業績予想数値の修正の理由

売上高につきましては、光事業において、引き続き新製品やレンズ加工品の販売に努めることや、エレクトロニクス事業において、FPD露光装置向け極低膨張ガラスセラミックスや光通信機器向けガラス素材の在庫調整が見込まれる一方、半導体露光装置向け高均質ガラスやナノセラム™の需要は引き続き好調に推移する見込みであることから、前回予想を上回る見通しとなりました。

また、損益面では、光事業において、レアアース原料の価格上昇が見込まれる一方、両事業において引き続き生産性の向上に努めることなどから、前回予想を上回る見通しとなりました。

4. 平成30年10月期配当予想の修正の内容

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成29年12月14日発表)		20.00	20.00
今回修正予想		30.00	30.00
当期実績	0.00		
前期実績 (平成29年10月期)	0.00	20.00	20.00

5. 配当予想修正の理由

当社は、経営基盤の強化と今後の事業拡大のため、必要な内部留保を充実しつつ、株主各位に対する安定かつ継続的な利益還元を実施して行くことを、配当政策の基本方針としております。

この方針に基づき、期末配当予想につきましては、上記業績予想の修正を踏まえ、前回予想より10円増配し1株当たり30円とさせていただきます。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上